

広報 県病院だより

県立大島病院：鹿児島県奄美市名瀬真名津町18-1

電話 0997-52-3611 FAX 0997-53-9017

【URL】<http://hospital.pref.kagoshima.jp/oshima/>

大島病院の理念

公立病院として、奄美の医療に貢献し、住民に信頼される病院を目指します。

- 1 わたしたちは、奉仕の精神をもって、患者様に接します。
- 2 わたしたちは、質の高い医療を提供することに努めます。
- 3 わたしたちは、地域の医療・福祉との連携に努めます。

新しい年を迎えて

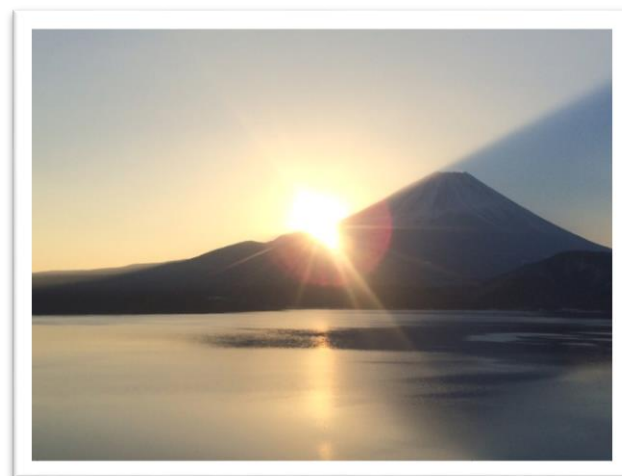
院長 眞田純一

あけましておめでとうございます。

今年の干支（えと）は60年ぶりの丙申（ひのえさる）年となりましたが、暦の解釈としては“変革の年”であり、うねり・争いが多い年、あるいは頑張ってきたことが形になる年とされます。とくに後者がよりクローズアップされる年となることを願いたいところですが、戦後70年であった昨年の世情、国際情勢等をみますと、今年は対外的にも物事のさまざまな抑揚が続きそうです。

昨年の県立大島病院の流れを振り返ってみますと、4月より鹿児島大学救急科からの応援により救急科医師が増員となり、それまでの夜間中心であった救命救急センターが、文字通り24時間フルの診療体制となりました。また県の地域枠での修練を経た医師派遣により、当院を基地とする十島村への巡回診療を開始しています。9月には5年ぶり3回目となる病院機能評価を受審、職員のみなさんの1年以上にわたる機能アップへの努力で、ほぼスムーズに合格することができました。新しい認定証はこれまでと同様、院内各所に掲示しますのでどうぞ一度ご確認いただきたいと思います。

さて今年の展開ですが、まずは昨年7月より開始されたドクターヘリ準備委員会を踏まえ、28年度後半の開設へ向けての環境整備を進めていきます。ヘリ格納庫の建設、給油設備の設置、島内・島外各地のヘリ離発着地点（ランデブーポイント）の確保等に加え、稼働時の関係機関との連携体制の構築を図っていきます。おかげさまで救命救急センターはほぼ順調に運営がなされていますが、ドクターヘリ開設にあたっては、さらなるスタッフの充実も必要となります。円滑な運用開始へ向けて努力していきますので、ご理解ご協力をよろしく願いいたします。



また今後予測される人口減少、一方では団塊の世代が後期高齢者（75歳以上）になり高齢者が著増する“2025年問題”への対応として、効率の良い医療・介護連携を目指す“地域医療構想”を関係機関と協力して作り上げていく必要があります。県病院としては現状通りの高度急性期・急性期機能病院を維持するとともに、がん診療連携拠点病院である点を踏まえ、奄美地域にはまだ確保されていない“がん緩和ケア病棟”の新設に向けて検討を進めていきたいと考えています。また職場環境として、以前より問題となっている院内保育所整備も重要です。とくに近年では女性医師が増加している（若い世代では約4割が女性となっている）こともあり、看護師のみでなく医師確保の面からも、喫緊の課題となってきています。

人口動態・社会情勢等、病院を取り巻く環境は大きく変化し厳しさを増すばかりですが、将来を見越した、より良い対応を目指していきます。本年がみなさんにとって、また県病院にとって良き年となりますことを願いたいと思います。

目 次

CONTENTS

◆ 新しい年を迎えて・・・・・・・・・・・・・・・・	1
■大規模災害訓練	
◆ 直下型地震を想定した訓練を実施・・・・・・・・	3
■イベント	
◆ クリスマスコンサート・・・・・・・・	4
◆ クリスマスキャンドルサービス・・・・・・・・	4
■医療安全の取組	
◆ 医療安全推進週間（11/24～11/30）の取組から	5
■委員会活動	
◆ がん緩和医療ケアチーム会	6
◆ リンクナース会	7

看護師等募集のお知らせ

◆看護師・助産師 若干名

- 【仕事の内容】 看護や助産に関する業務全般
【採用区分】 (1)臨時職員／月 14 日勤務（昼間みの勤務）
(2)臨時的任用職員／正規職員と同等
【就業時間等】 交代制あり ・8:30～17:15 ・16:30～ 1:15 ・0:30～ 9:15
【採用方法】 面接（履歴書持参）

【問合わせ先】
県立大島病院 看護部
0997-52-3611（内線 2012）

当 院 は 敷 地 内 全 面 禁 煙 で す

～皆様のご理解とご協力をお願いします。～

■大規模災害訓練

10月1日、午後1時半に奄美大島近海で震度6弱の直下型地震により、傷病者58人が発生という想定のもと患者のトリアージ、搬送、治療、処置の手順を確認しました。



【災害対策本部】

・災害対策本部では、まず被災状況等の情報を収集します。そしてその情報を共有して、対応策を決定し、各部署に発信します。

また、状況変化の情報により、対応策も適宜変えていきます。

この訓練は、「救急の日」の関連行事として毎年行っているもので、今年は7年ぶりに改訂した災害対策マニュアルを基に訓練を行いました。

訓練では病院職員はもとより、搬送役の大島地区消防組合、模擬患者役として奄美看護福祉専門学校と奄美高校の生徒さん達の協力も得て、スムーズな対応ができたと思っています。なお、参加者は約250名でした。

<訓練風景>



①トリアージ



②患者搬送



③処置・治療

■ イベント

～クリスマスコンサート～

12月13日（日）1階受付ロビーにおいて、入院患者やその家族を対象としたクリスマスコンサートを行いました。今回は名瀬市民合唱団とアマービレ吹奏楽団をお招きし、クリスマスにちなんだ歌や曲を披露していただきました。ロビーは一足早いクリスマスモードに包まれ、約60名の患者さんなどの楽しむ姿が見られました。



【名瀬市民合唱団の美しいハーモニー】



【アマービレ吹奏楽団の楽しい演奏】

～クリスマスキャンドルサービス～

12月24日（木）の夜、職員52名と子供達18名でクリスマスキャンドルサービスを行いました。ローソクを片手に、「もろびとこぞりて」と「聖しこの夜」を歌いながら病棟へ伺い、入院中の患者さんにクリスマスモードを届けました。

サンタやトナカイに扮した医師も登場し、特に小児科病棟では突然のサンタの訪問に喜び子供達の笑顔があふれました。



【厳肅に・・・】



【サンタさんとトナカイさんと一緒にパチリ！】



■医療安全の取組

～医療安全推進週間（11/24～11/30）の取組みから～

医療安全推進週間とは

厚生労働省は、「患者さんの安全を守るための医療関係者の共同行動」と「国民の理解と認識を深める」ことを目的として平成13年から毎年11月25日を含む週間を「医療安全推進週間」と定めています。

1 1 2 5

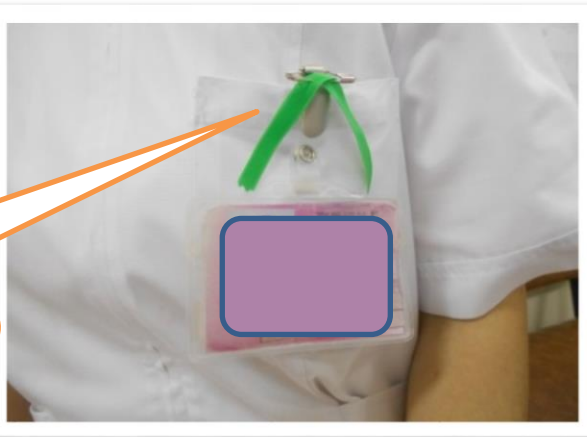
11月25日は、「いい医療にGO!」という語呂合わせで医療安全の日となっています。

医療安全推進週間には、職員の医療安全教育と啓発のため研修会の開催、医療安全標語の募集、来院者への啓発チラシの配布、転倒防止ビデオの上映、新規採用職員の医療安全管理者体験などを行いました。

新規採用看護職員2名が「一日医療安全管理室長」として各部門をラウンドしました。「ベッドハンドルの出っ張りや床頭台の上に置かれた患者の私物が落下する危険があることに気付いた」「インシデント報告から、その場面の振り返りをしっかりして対策を考えること」「報告することで情報が共有され、一人ひとりが意識すること」「マニュアルの遵守や基準手順を徹底することが重要である」など一日を通して医療安全について学ぶことができたようです。



初めての取組みとして、全職員が緑のリボンを着用し、医療安全推進週間をPRしました。



緑のリボン

<平成28年度 県立大島病院医療安全標語決定>

職員から医療安全標語を募集し、寄せられた多くの標語の中から



「安全は小さな気づきの積み重ね」

に決定しました。

■委員会活動

～がん緩和医療ケアチーム会～

緩和ケア認定看護師 鐘撞 都子

1. 委員会の設置目的

がん患者及び家族により質の高い緩和医療を提供することを目的としています。

2. 委員構成

医師

副総看護師長

副地域医療連携室長

各部署より看護師（外来 3階 4階 5東 6東西 7階）

薬剤師

理学療法士

管理栄養士

がん相談員

医療福祉相談員

がん関連認定看護師（緩和ケア・がん化学療法・がん性疼痛）

3. 活動実績

1) 定例会：毎月第2火曜日 16時～17時

2) 活動内容

(1) カンファレンス(毎月)

(2) 緩和ケア研修会

① 平成27年8月3日

がん性疼痛看護 薩南病院 がん性疼痛症認定看護師 坂口 智子
参加者 76名（院内 36名 院外 40名）

② 平成28年2月9日予定

オピオイドについて 薬局

コミュニケーションスキルアップ 看護師

(3) がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会（PEACE研修会）

平成28年2月6, 7日

(4) 疼痛緩和に関するwebセミナー開催

① 平成27年 5月22日・・・How to がん疼痛

② 平成27年10月19日・・・がん疼痛のマネジメントの実際

(5) 七夕かざり

平成27年7月7日～8月20日

(6) クリスマスコンサート

平成27年12月13日

～リンクナース会～

感染管理認定看護師 佐藤ひろみ

1 目的

看護部の活動により、院内感染を予防することを目的としています。

2. 組織

1) 委員

副総看護師長（医療安全担当）
感染管理認定看護師
各部署実地指導に当たる看護師

2) 定例会

毎月第2木曜日 16時～17時

3) 平成27年度の目標

リンクナースが病棟の中心となり、現場で感染対策を実践できる。

- (1) 職員の手指衛生遵守率が向上する。
- (2) リンクナースが小集団で活動する。
 - I) ラウンドグループ
 - II) 感染管理ベストプラクティスグループ
- (3) リンクナースが感染対策マニュアルを周知し、スタッフへ指導できる。

4) 評価

- (1) 職員の手指衛生遵守率に向上がみられた。
- (2) ラウンド時に改善必要部分がわかり、介入できている。
- (3) ラウンド時の評価点数制が導入できていない。
- (4) ベストプラクティスの研修会に1名が参加し、吸引ベストプラクティスを作成した。

5) 課題

- (1) リンクナースがロールモデルとなり、院内感染マニュアルを周知徹底する。
- (2) 院内ラウンドを継続し、感染対策実施状況を確認する。
- (3) ベストプラクティスを作成し、手順を統一する。
- (4) 手指衛生サーベイランスを継続し、手指衛生遵守率の向上を図る。

県立大島病院患者権利憲章

わたしたちは、患者様の次の権利を尊重します。

- 1 人間としての尊厳を尊重される権利
- 2 国籍、人種、信条、年齢、性別、社会的身分により差別されない権利
- 3 プライバシーを保護される権利
- 4 常に可能な限り、高度な医療を受ける権利
- 5 病院、治療方針について、必要な情報を得て、自分で決めることのできる権利
- 6 延命措置を選ぶ権利または断る権利
- 7 医療に従事する者の氏名、資格、役割を知る権利
- 8 診療記録の開示を求める権利